

# 松川村議会

第131号  
平成21年1月15日



新年明けまして

おめでとうございます

平成21年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

本年も皆様方のご多幸と、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、議会報では詳細には載せきれない悩みがありましたので、議会活動をより理解頂くために、平成20年3月の定例会から議事録を村ホームページに掲載しました。皆様には、ぜひご覧頂きたいと思っております。

また、議会傍聴の皆様、議会議の内容が分かるように、議事書を閲覧できるようにし、一般質問も質問内容が、より分かりやすいように、質問要旨を配布するよういたしました。

さらに、住民のための議会・開かれた議会をめざし、そのためのルールづくりとして『議会基本条例』を調査・研究する委員会を立ち上げました。

私たちは、村民主体の村政を実現するよう、全力を注いで参ります。

皆様の議会に対する温かいご支援とご指導を、心からお願ひ申し上げます。

## すずむし荘一部修繕、 公共施設等整備基金積立など

### 一般会計追加補正 1277万円

12月9日平成20年第4回定例会が開催されました。補正予算が付議され、一般会計のほか、国保、老保、公園墓地、下水道、水道など、各会計補正予算を議決しました。

一般会計で地方交付税を主な歳入財源として、公共施設等整備基金へ積立、すずむし荘の照明の一部リニューアルすることなどが計上されました。また、請願・陳情6件が委員会に付託され、審査しそれぞれ意見書な

ど、国への提出を決めました。開会時、村長あいさつがあり、「上緑町工業団地へ進出した(株)あづみ野ビバレッジの21年4月操業開始を目指して工事が進められていること。地域高規格道路のルート案が発表されたこと」など報告がありました。5名が一般質問し、村政を質しました。11日間の会期で12月19日閉会しました。

## 平成20年第4回定例会提出案件

### 【条例】

#### 一部改正

松川村国民健康保険条例の一部を改正する条例

賛成全員可決

### 【予算】

平成20年度一般会計補正予算など7議案

賛成全員可決

### 【その他】

長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少についてなど2議案

賛成全員可決

### 【報告】

請願・陳情8件

賛成全員(一部多数)承認



受賞の甲斐澤明議員

県町村議会議長会の  
自治功労表彰

甲斐澤明議員は、  
議会議員に10年以  
上在職し、地方自  
治の振興に功労が  
あつたとして、昨  
年11月29日、長野  
県町村議会議長会  
の表彰を受けまし  
た。  
平成10年の村議  
会議員一般選挙で  
初当選し、現在3  
期目です。

請願・陳情

【採択】

「汚染米」の食用への転用事件の全容解明  
と徹底回収、外米（ミニマムアクセス米）  
の輸入中止を求める請願書

「協同出資・協同経営で働く協同組合法」  
（仮称）の速やかな制定について意見書の  
提出を求める陳情

介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書  
介護労働者の処遇改善を求める陳情書  
共済法制定を求める陳情書

【一部採択】

所得割重視の国保税（料）を求める陳情

【不採択】

介護保険料を所得比例中心に変更すること  
を求める陳情  
私立高校に対する大幅公費助成をお願いす  
る陳情書

工事中の「すずの音ホール」「リンリンパーク」を見学

平成20年12月19日

正面玄関から入ると右にホール、  
左に図書館があります。



ホールの内部。  
左がステージです。

書架が並んだ図書館の内部。  
左には子どもの目線にあった  
低い書架があります。



冷房用の地下水を  
取水する井戸の  
説明を聞きました。



11月末現在、全体工  
程70%の進捗状況の施  
設を内部まで見学しま  
した。  
建物全体の構造は、  
ワークショップで多く  
のみなさんから出され  
た「思い」が随所に組  
み込まれていました。  
図書館は書架も入っ  
ていましたが、設計図  
で見たより広さが感じ  
られ、ステージの音響  
施設は「近隣のホール  
では一番でしょう」と  
設計者も自慢するだけ  
あり、とても素晴らしい  
ものでした。  
ホールの床を、職人  
さんが数ミリの狂いも  
ないように丁寧に板張  
り作業をしているのが  
印象的でした。  
リンリンパークから  
は有明山はもちろん北  
アルプスの展望も素晴  
らしく、広々としてお  
り、村の方々が集う素  
適な場所になると感じ  
ました。2月末の完成  
が待たれます。



# 常任委員会視察研修報告

総務産業建設常任委員会 10月21・22日

## 「スローなまちづくり」が合言葉

三重県いなべ市

高齢化が著しく、荒廃した農地を有効活用しようとして農業公園を整備し、都市と農村との相互理解の促進、高齢者就業機会の確保、農地の新たな活用による特産品の開発、生産者の生きがい発揮による地域の活性化に取り組んでいます。

地域の高齢者によって手作りで整備された梅林やばたん園では、3月に梅まつり、6月には梅のもぎ取り体験を、ゴールデンウィークには牡丹が咲き市内外、県外からも観光客が訪れています。

この公園では、土木整備、植栽剪定、イベントの運営なども高齢者の知識・経験を生かし、住民自らが行っています。また農業の持つ福祉的機能に着目して、「青空デイサービス」として園芸作

社会福祉文教常任委員会 11月10・11日

## 愛知県幡豆町の

### 福祉の拠点「いきいきセンター」

平成14年度完成施設で、町の福祉課と社会福祉協議会が入っています。福祉課・生涯学習課・総務課・住民課に係る26団体のボランティアなどが活躍しており、住民と行政が知恵を出し合っ

て築く、いきいきとしたまちづくりの拠点」として利用しています。



明るく開放的な雰囲気センター内



住民主体の公園の運営を学ぶ

## 地域の活性化が図られていました。

### ごみの地産地消「生ごみ循環エコロジーシステム」

滋賀県甲賀市

平成13年に、住民・処理業者・行政による「エコライフ推進協議会」が立ち上がり、増加の一途の家庭系可燃ごみ・事業系ごみから、生ごみを分別し、高熱成堆肥としてリサイクルさせるシステムを開発しました。

各家庭で密閉式バケツを用意し、集積所にある

業や梅などの公園内の産物を使った加工、工芸などで、生きがいの創出を図っています。

またクラインガルデン8区画を都市住民に年間50万円貸出し、農業体験を行い、やすらぎの場を提供するとともに、都市と農村の交流を通じて

専用回収容器に生ごみを投入します。臭いや鳥獣対策は不要です。その後発酵させ、堆肥化したものは各家庭に無料で還元します。

市内を走るゴミ収集車のボディには、市内の園児が描いた絵をプリントし、子どもたちに環境を身近に考えてもらうきっかけづくりをしています。

「生ごみ循環エコロジーシステム」はごみの地産地消、ごみの減量とともに二酸化炭素の発生を抑え、温暖化対策、埋立地の延命につながります。



業者からシステムについて聞く

住民・地域企業・行政がいかに協同する事ができるか、環境対策にどのくらい熱心かが問われる事業だと感じました。

託児・高齢者への家屋修理・行政景観の記録保存・災害及び防災作業・コンサートなど幅広い活動で、特に防災ボランティアは消防経験者が自主防災にも深くかかわること、各課の連携した取り組みに工夫を感じました。

この施設の平成19年度年間利用者は、3万6461名で、休日は年末年始だけです。「すこやかルーム」は各ボランティア団体が打ち合わせなどに利用し、部屋にはグループの関係物を入れるキヤビネットが設置されており、松川村でもこの方法は取り入れていきたいと感じました。

また、情報発信基地としての活動が活発で、協働のまちづくりに大きく貢献していました。

### 南箕輪村の子育て日本一の取り組み

保育園は5カ所、園児は521名。保育士66名（障害児加配保育士16名を含む）。給食費を含んだ



学童クラブで友達と楽しい時間を過ごす

保育料は4年間毎年値下げをしていました。給食にはJAが入っています。また、幼児と保護者を対象にAED取り扱い講習会を実施しており、これは、松川村でも取り組んでいくとよいと感じました。

平成19年度は、小中学校耐震工事・学童クラブと保育園施設など子育て支援を中心に取り組み、医療費無料化は松川村と同じ中学3年生まで実施しています。

「子育て支援日本一」を目指す姿勢に若者が集まり高齢化率も低くなり、高速道路により工場も増え、自主財源を多く持つ自治体へと変化しており、活気ある村づくりに感じました。

委員会  
報告

社会福祉文教  
常任委員会

21年度から計画している  
「子ども教室」

平成20年12月2日

子どもの成長と発達を願い、学校施設を活用した「放課後こどもプラン」として、文部科学省と厚生労働省が連携して実施するという事業で、村でも来年度から始める「子ども教室」について、教育長から内容を聞きまし



子育て関係機関の合同会議

平成20年11月28日

社会教育委員会が当番で、教育委員会・民生児童委員協議会正副会長と主任児童委員・議会社会福祉文教常任委員会の合同会議が開催されました。

この会は、村の子どもの支援に、それぞれの機関が連携する連絡会として毎年開催されています。

今回は、「長野県食育推進計画」についての県職員の講義と、各機関の懇談・子育てリンリンセンターについての話がありました。

食育の講義は、子どもも大人も食の大切さを確認し、バランス・量・種類・安全など、地域の生産者なども取り込んだ全体的な計画を進める内容の話でした。



村も、地域の活性化や安心安全の食への取り組みの計画を策定中とのことで、健康の源となる「食」を大切にしたい子育てを考

えている様子が良くわかりました。「子育てリンリンセンター」では、プライバシーを守りながら月2回、ケース会議が開催されており、いままで3件の相談が寄せられたとのことでした。

それぞれが力が合わせて「子育て」に取り組むこの会での検討を、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

食育委員会

食の安心安全  
まったなしの取り組みを

11月の寒い日の夕方、村の給食野菜組合の野菜収穫を体験し、懇談をしました。翌日の給食で使用するというキヤベツは、太陽の恵みを受けキリツとしまった出来でした。

懇談では、給食センターにより多く地元食材を届けたくても、様々な問題があり、なかなか進まないとのことでした。

大事な命を育む地元の食材を、給食センターにより多く納入でき、もつと地元の方にも利用していただき安心の輪をひろげ、村の活力につながる体制づくりに取り組む必要を感じました。

生産者と消費者が笑顔で向き合い、明るい村づくりが進むよう、今後はもつと生産者の方と懇談するなど、委員会として、食を積極的に考える活動を、更に取り組んでいきます。

議会日誌

「10月」

10日 区長会と懇談会  
21日 総務産業建設常任委員会視察研修  
27日 穂高広域施設組合議会

「11月」

3日 自治・技能功労表彰式  
10日 社会福祉文教常任委員会視察研修  
17日 池田松川施設組合議会  
19日 学校給食センター運営委員会  
25日 北アルプス広域連合議会

「12月」

3日 議会運営委員会 議会全員協議会  
9日 平成20年第4回定例会(19日まで)  
12日 松川神社しめ縄づくり ほか

10・2 村収穫祭

19・3 中学校松葉祭

19・9 村民運動会

11・9 大北社会福祉事業協会評議員会

24 暴力追放・交通安全村民大会

19 土地開発公社理事会

20 県へ要望(国営公園)

22 旧第12通学区高校教育研究会

26 国営アルプスあづみの公園期成同盟会臨時総会

28 上下水道委員会

12・3 議会社会福祉文教常任委員会など四団体合同会議

4 青少年育成村民会議

6 県へ陳情

9 温泉施設等運営委員会

25 県立高校再編計画懇談会

6 年末交通指導所

25 大北水田農業推進協議会 など



一般質問 5人の議員が登場

平成20年12月16・17日



新村議員

村内企業の実態把握は

株価の暴落、金融危機は全世界に波及。日本も企業の非正規労働者の解雇が相次ぎ、しわ寄せは下請け業者まで来ている。実態把握のため村内企業訪問はされているか

問 時間を見つけ数社訪問している。
答 企業の様子はどうか
答 商工業全般では、年度当初から原油・原材料が高騰し、業績が伸びない。特に製造業では8月以降急激に受注量が減少している。建築業も需要が停滞し、小売飲食業では客足が減少している。村内3社で非正規労働者のリストアの情報がある

問 相談の窓口はどうか
答 経済課に開設。資金融資などは商工会と連携

し対応している。

問 村の対策は。

答 村でできることは精一杯やっていきたい。

問 景気後退、企業業績悪化で税収減が心配だが

答 税の減収は予想せざるを得ない。国の地方交付税1兆円増額に注目している。

問 税の収納率アップにコンビニ利用はどうか

答 多額の費用がかかり考えていない。税の収納対策は全力で頑張りたい。



井上議員

給食施設について

問 池田松川給食センターの老朽化による建替えに向け、学校給食施設を考える会が発足した。その状況はどうか

答 この会の目的は、現状把握と先進施設視察で各委員から多様な意見を

頂くこと。施設形態、炊飯施設の有無、アレルギ

ー対応、地産地消と食育

経費面など広く意見が出

されている。意見は一本化せず整理し両町村へ報告することで進めている。

問 建替えの結論はいつごろ出するのか

答 この施設の設置は長の職務権限に属するものなので町村長が最終判断をすることになる。

村施設の営業について

問 寄って停の営業時間延長の成果は

答 1カ月試行したが期待に反し、利用者は少数にとどまった。

問 すぐむし荘への誘客のため、国営公園の観光客を見込み、ちひろ美術館と連携を取りながら開園に合わせ、西原遺跡公園、旧松香荘跡地などを含めた開発を検討しているか

答 担当課で素案を取りまとめられている。その結果で、どういう体制で進めていくか検討したい。



渡邊議員

村の緊急経済対策について

問 村内企業や商工業者訪問すると悲痛な訴えがあるが現状をどう思うか

答 非常事態と認識している。自助努力も必要だが、村内で使うものはぜひ村内で買ってほしい。
問 村内の今年の閉店・倒産の件数は。村へ相談はあったか

答 7件あった。村への正式な相談はない。

問 村の緊急経済対策は

答 相談体制を整え、できる対応は早急に取組みたい。

持続可能な農業のために支援を

問 持続できる農業のキーワードは

答 いろいろな要素があるが、作った物が高く売れば継続できる。

問 国の農政を根本から

変え、農産物への価格補償が必要と思うがどうか

答 理解はできるが村単独ではできない。

問 国の農地改革プランの先手を打ち、集落営農組織を村独自に発展させることが必要ではないか

答 その通りであり集落営農が発展し充実してもらうよう努力したい。

問 今ある組織をより良いものにするためには村長が首頭をとるべきと思うが

答 全てが村主体でなく、一緒に頑張ってもらいたい。

駐輪場の環境整備を

問 公共駐輪場の現状は

答 村に13カ所あり、うち8カ所が屋根付。松川駅周辺は利用者のモラル低下もあり、管理に苦労をしている。

問 首の音ホールの駐輪場はどうなるのか

答 正面東側に屋根付で

15台分を予定している。

問 国営公園の開園で全国から観光客を迎える。村内の駐輪場を整備しサイクリング村を目指すか

答 サイクリングロードについては、徐々に整備していきたい。

問 今年の越冬対策

答 今年の除雪車の出動方針は。

答 業者委託4社、個人委託4人、職員39人で除雪体制を整えている。除雪車は積雪5センチ待機、10センチで出動する。

問 村道の凍結対策は

答 危険箇所は職員が凍結防止剤を散布している。

問 塩害が心配だが

答 今年から低腐食性で植物に優しい凍結防止剤を利用する予定。

20年度の補正予算

問 すぐむし荘の修繕工事の内容は

答 照明器具の交換を予定している。1階玄関と廊下部分、2階西側ホール部分を明るくする。お客様に迷惑をかけないように実施し、1月下旬には完了の予定。

佐藤議員



榛葉議員

村長の政治姿勢

問 公民館、就業改善センターの後利用について、村は初めてパブリックコメントに取組んだが感想はどうか。

答 8名の方より13項目の意見があり、少なく感じたが、有意義だった。

問 頂いた意見は検討の中に十分入れて、村民の財産を何に使うか慎重に検討してほしい。

答 計画案どおり実施する予定だが、検討する余地もある。

問 学校給食野菜への集落営農組合の取組み状況はどうか。

答 1組合が実施した。給食野菜を作ること

は大変な仕事。営農支援センターを窓口とした取組みで大丈夫か。

答 可能と思うが、農家の協力が不可欠。

問 環境にやさしい村づくり可燃ゴミの現状は。答 家庭系、事業系とも

減少傾向にある。問 生ゴミ堆肥化推進に講演会などの啓発活動はどうか。

答 検討する。問 農地・水・環境保全向上対策の現状と今後は、地区の連携を深めるためフォーラムの開催は。

答 2年目に入り事業に対する理解が深まり、特色ある活動が見られる。今後は統一した景観づくりなど地区の連携が課題。フォーラムは代表者会議で検討したい。

議会傍聴は、受付簿にお名前を書いていただくだけです。

審議内容が分かりやすくするために議案書と一般質問要旨を用意してあります。議案書は議場内で閲覧できます。

(いづれも、数に限りがありますが、ご了承ください)

定例会等会議録が、村のホームページでご覧いただけます。

になりました。

(ホームページアドレス <http://www.vill.matsukawa.nagano.jp>)

池田松川施設組合

平成20年11月17日 定例会報告

平成19年度一般会計決算を認定。

[歳入総額] 1億3402万円

[歳出総額] 1億2729万円

【歳入】

\* 給食施設の町村分担金 総額は1億1773万円、松川村5366202万円・池田町4765571万円。(18.10.1現在の児童・生徒・職員数による)

\* 葬祭施設の町村分担金 総額は722万円、松川村486348万円・池田町526374万円。(18.10.1現在の人口による)

施設利用状況：松川村102人・池田町134人・地区外12人の計248人。

【歳出】

\* 主なものは、給食センター事務局費の洗浄室用温水タンク改修工事費・蒸気ボイラー購入費などです。人件費が7369262万円・物件費が2262847万円です。

監査委員から、給食センターについては、建替えの検討も始まり、適切な維持管理と安全な学校給食の提供を要望する。葬祭センターについては、老朽化してきているので施設管理には細心の注意をしてほしい。と決算審査意見がありました。

平成20年度一般会計補正予算を可決。

歳入(平成19年度会計からの繰越金)歳出(給食センターに冷蔵庫を購入し、火葬場に雨除屋根と車イス用のスロープを設置)にそれぞれ373万円を追加し、総額を1億2979万円とするものです。

穂高広域施設組合

平成20年10月27日 定例会報告

管理者から、組合運営の合理化に努めてきた。施設の延命、更なる合理化に努めたい。老朽化している当施設の今後のあり方等課題は多くあるが将来に向け計画をたて、更新の実現化に向け進めたい。とあいさつがありました。

平成19年度一般会計決算を認定。

[歳入総額] 18億9305万円

(うち松川村分担金1億17万円)

[歳出総額] 17億9862万円

余熱利用施設の経費削減、最終処分場の設置と大規模施設改造計画があることから各施設運営の効率性、財政健全化への配慮を決算審査意見としてありました。

新設条例1議案を可決。

平成20年度一般会計補正予算を可決。

歳入(雑入増、利子・配当金減)歳出(余熱利用施設費・燃料費増、工事請負費減)にそれぞれ111万円を追加し、総額を18億4825万円とするものです。

池田松川学校給食センター運営委員会

平成20年11月19日 定例会報告

平成19年度池田町松川村学校給食センター給食費会計決算について、

- ・給食費の未納はない。
  - ・食物アレルギー対応については、細心の注意で取り組んでいる。事故はない。
  - ・米の値上がりが見測される。
  - ・給食センターの建設について「学校給食施設を考える会」で意見を集約し、12月にまとめる。
- など、説明を受け、全会一致で認定。

一般質問

議員が関係する組合等の報告 (金額は千の位を四捨五入)